

進和ラベル印刷株式会社



【対象類型】 ものづくり技術

【事業類型】 高度生産性向上型／最新モデル

事業
計画名

最新ラベル検査機の導入による
高品質ラベルの確立および販路拡大

**「小さな顔で、大きな力。」ラベルは商品の顔 商品の輝き、売れ筋に影響力
検査体制確立で品質向上、リードタイム短縮、コストダウンの成果**



新規導入したラベル製品の検査機。

事業の背景・目的

当社はラベル印刷を中心に手掛けているラベルのメーカーである。平成26年度ものづくり補助金においては、ラベル業界では数少ないオフセット方式印刷機を導入し、印刷技術のさらなる高品質をめざした。

ラベルの素材は紙だけでなく、フィルム他多種多様な素材にも印刷する。印刷が終わったものは、出荷前に必

ず検査工程を経て納品するが、当社現有の検査機を用いた検査体制では、顧客の品質要求に対し、十分に答えられない状況にあった。

当社の顧客は地元の食品関係が多く、また、最近は東京支店からの受注も増えつつある中、商品の顔であるラベルの品質向上、検査体制を整えることは急務であった。

事業内容

顧客のラベル品質要求に対応するため、印刷後のラベル製品を検査できる最新式の検査機を導入した。

従来の検査機では、カメラで検査した後に再度目視による確認を行っていた。最新検査機はカメラの精度があり、今までは機械による検査ができなかった、光に反射する金属箔や透明フィルムなどのラベル素材にも対応できる。



ラベルは商品の顔。印刷の品質だけでなく、商品の魅力を引き出す。

事業の成果

従来確認できる不良箇所の大きさは、0.5mm×0.5mmまでであったのが、最新式の検査機では0.1mm×0.1mmまで確認できるようになり、検査精度があがった。

ラベルはロール紙に印刷するため、これまでは1つ不良箇所を発見すると検査機が止まり、次の不良箇所が見つかるまでまた止まるということがあったため、1ロールの検

査が終わるまで長い時間がかかっていた。

新たな検査機では、1巻600mのロールを最後まで検査して不良箇所を記録し、巻き戻す時に記録箇所ですまり不良を取り除くことができる。そのため、検査工程にかかっていた時間が短縮された。また、導入後は同業者であるラベル会社からの受注も増加している。

今後の展望

東京支店からの受注が増加傾向にあるため、今後も首都圏への営業活動に重点を置き、代理店や同業者からの受注拡大を狙う。さらに、大阪を拠点に関西圏の営業エリアの確立もめざしている。また、化粧品や医薬品関係の引き合いも増えているため、それら業界への事業拡大を図る。

ラベルは一般の印刷物より小さく軽いため、宅配便でも送れるなど流通コストによるデメリットが少なく、地方でも十分戦える。

長年にわたり地元局でのラジオCMやホームページの

リニューアルを行い、「顧客あつての当社」の考えのもと、県内営業にも同様に力を注ぎ、技術力向上と人材育成に研鑽していく。



第25回世界ラベルコンテスト
レタープレス(ワイン・スピリッツ)最優秀賞受賞。

進和ラベル印刷株式会社

事業内容

- シール・ラベルの製造販売 ■包装資材の卸販売
 - オンデマンド印刷物の製造販売
- デザイン・製版・印刷・検査・仕上げ加工まで完全内製化

コンテスト受賞履歴

世界ラベルコンテスト9回受賞、国内では最優秀賞8回、審査員特別賞2回



代表取締役 晋道 純一

代表者: 晋道 純一
設立年: 昭和62年4月
資本金: 3,000万円
従業員: 59名

住所: 山形県上山市蔵王の森10番地
電話: 023-672-7577 FAX: 023-673-2019
URL: <https://shinwalabel.co.jp>
e-mail: ホームページお問合せより